

邇摩高校WEBサイト

https://www.nima.ed.jp/



発行所
島根県立邇摩高等学校
松風会

〒699-2301
島根県大田市仁摩町仁万907
TEL 0854 - 88 - 2220
FAX 0854 - 88 - 4417



松風会会長

胡摩田 弘 孝

(昭和49年農業科卒業)

「地域と伴に歩む」

松風会の皆様には、平素より邇摩高等学校発展のため、多大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は慣れない中、大島前会長さまの後継として一年が過ぎ、改めて前会長のこれまでの対応が、邇摩高校及び松風会の維持・発展にご尽力頂いたことに改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、邇摩高校の理念は、一般的な教養を高め、専門的な知識・技術及び社会人として必要となる能力を習得し、人間性豊かで、将来の地域産業を担う職業人・社会人を育成するとあります。

一昨年は創立120周年を迎え、歴史と伝統を重んじながら4つの系列からなる総合学科が編成され、様々な活動を展開されています。

部活動では、勤労・創造・仁心の精神のもと12部1同好会の特徴的な活動があります。全国大会に出場したビーチバレーや弓道部、伝統を重んじる石見神楽部、野球部、農業クラブビジネス同好会、全員参加

の体育祭や邇摩高フエアなど様々な特徴的な取り組みを果たしておられ、益々のご活躍を願うところです。こうした中、地域では少子高齢化や人口減少に歯止めが効かず大きな課題となっています。大田市は昨年11月には合併20周年を迎え、令和9年度には石見銀山世界遺産登録20周年、石見銀山発見500年の大きな節目を迎えます。すでに様々な事業が実施され、今後も計画をされていますが、こうした地域活動にも積極的な関わりを持つことが、地域貢献につながると思います。松風会の願いは、学習や部活動・職場体験を生かし、一人でも多くの生徒さんが地元に残って頂くこと。進学や就職で一旦都会に出られてもいつかは故郷に帰ってこられるよう、地域を支えて頂く担い手の確保や、邇摩高校の更なる飛躍に向けて最大限の応援をさせていただきますので、どうか皆様には今後とも温かいご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域とともに未来を育む

校長 佐々木 健 二

松風会の皆様には平素より本校の発展のために、物心両面にわたるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度に引き続き、今年度も関東支部総会が開催され、胡摩田会長とともに参加させていただきました。会場では高校時代の思い出や近況報告の話が弾み、時を重ねても変わることのない母校への深い愛情に触れることができました。世代を超えて語り合える場があることは、邇摩高校の大きな財産であり、同窓会の力の大きさを改めて感じました。温かくお迎えいただき、終始和やかな雰囲気の中で交流を深めることができましたことに、心より感謝申し上げます。

さて、本校は、「人間性豊かで、将来の地域産業を担う職業人・社会人の育成」を教育目標に掲げ、四つの系列による多様な学びを展開しています。総合学科の強みを生かし、生徒一人ひとりが自らの進

路を見据え、主体的に学ぶ姿勢を大切にしています。その実現には、地域や卒業生の皆様に継続的に学校を支えていただくことが欠かせません。今年度も、3年生を対象とした「ジヨブトーク」をはじめとする進路学習や部活動など、様々な場面で地域や卒業生の皆様にご協力をいただきました。これからも、地域とともに歩む学校として、より充実した教育活動を進めてまいります。

また、情報発信の充実を図るため、今年度は学校ホームページをリニューアルするとともに、学校公式インスタグラムを新たに立ち上げました。「邇摩高フエア」をはじめ、生徒が生き生きと活動する様子やさまざまな魅力ある教育活動を積極的に発信し、本校への理解と関心をさらに深めていただけるよう努めてまいります。

今後とも、卒業生の皆様の温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

2年連続
観光甲子園 決勝へ進出

「外国人も三瓶楽しめます!」

全国90校431チームから、予選、準決勝を突破した5チームが5分間の動画でプランを伝達するオンラインによる決勝大会に挑みました。

「外国人と歩く三瓶の道」を主題とし、三瓶登山をはじめ西の原の火入れやそば打ち体験、牛の餌やりなど、「火山の恵み」を観光資源とした長期滞在型の観光プランを発信しました。

グランプリとはなりませんでしたが審査員の高評価をいただきました。

総合学科 3年生

竹原初華さん 田上花菜さん 大谷天音さん 前原由依さん



観光甲子園の決勝の前に打ち合わせする生徒たち

山陰中央新報デジタル提供

逕摩高校学園祭「じんしんさい」

スローガン『仁響～心重ねる仁摩の舞台～』

体育祭の部



台風の日



応援合戦



分団別リレー



綱引き

文化祭の部



吹奏楽部の演奏



石見神楽部の演舞



有志によるバンド演奏



2年生企画「お化け屋敷」

85名が入学



入学式



防災避難訓練



球技大会



県総体壮行式



オープンスクール



生徒会役員選挙



石見銀山保全活動



金・銀・銅サミット



授業「森林科学」

授業風景



授業「石見神楽」



1年生「産業社会と人間」



授業「芸術」

逕摩高フェア2025



実行委員会の司会をする
来間社長



模擬店はキッチンカーを手配



J R仁万駅



仁心の庭



4系列企画 逕摩高での学びを地域に還元

写真で見る
逕摩高生

支部だより

関東支部だより

「昭和一〇〇年。年男」

● 早稲田 順治

昭和47年 農学科卒業



私は昭和28年7月13日生まれですが、生まれた時1,750

グラムの未熟児で産婆さんから「成熟していないからどうしますか?」と言われたそうです。この時、私の祖父が「初孫だから俺が育てる」と言ったことから人生が始まりました。

小学校4年生の時、友だちと2歳の妹と一緒にむすび池に釣りに行ったことがあった。浮きがピクピクとなり竿を取ろうとした時に妹が私の背中を押してしまい、私と妹は一回転して転がった。私は妹を抱えて友達

の助けを呼んだが、小学生の力ではどうにもならず、このまま死ぬのかと思った矢先にたまたま通りかかったおじさんに助けられた。家に帰った後、母親にこつぱく怒られた。中学生の時。隣の二つ年下の大原

司郎君と釣りに行き、高さ30メートルの断崖絶壁の松ヶ鼻を上から下へ降りていた時に、残り5メートル位で岩場が崩れ、海に飛び込もうとジャンプしたら、下はまさかの平坦な岩場で、着地した瞬間違和感あり。司郎君は歩けない私をおぶって、よく帰ってきたと思うが、しばらく松葉杖生活となった(司郎君に感謝)。社会人1年目の夏休み。商業科の同級生の稗田秀幸君と東京から車で

帰省する際、ちょうど東名の菊川インター付近、時速120キロでトラックに衝突事故を起こしてしまった。運転していた稗田君は無傷の中、助手席の私は目にガラスが入り、10針縫う大けがとなって2週間の入院となった。

40代の頃。暑い夏の夜に熱中症となつてしまい、東京駅で動けなくなつたことがあった。

そんな奔放な生活の中で、60歳で25年勤めていた食品会社を定年となり、健康のためにタバコをやめるためウォーキングを始める。健康にも気をつけていた矢先、61歳にてのどに違和感があり、近くの耳鼻科から即埼玉のがんセンターを紹介された。診断の結果「癌です」と言われショック。すぐに放射線治療を毎日1か月続けた結果、癌は消えず、声帯をすべて取る手術を実施。

68歳。日課のウォーキング中に勝手に尿が漏れることがあり、診断の結果、今度は膀胱がんにて、また埼玉のがんセンターにお世話になることとなった。

人生いろいろというけれど(そういえば、初めて就職したアパレル会社「株式会社チクマ」は島倉千代子のデビュー曲のスパンサーでした)、私の人生、生死の境目は何度もありました。それでも2025年12月30日現在72歳の年男、1日平均15,000

歩クリア、ラジオ体操年間300日参加クリア、健康に気をつけ、楽しく過ごしています。



関西支部だより

「あっぱれ母さん」

● 池亀家次女 辻 実南枝

昭和45年 普通科卒業

昭和33年に結核で長期療養していた父が亡くなった。母38歳、娘3人(小3、小1、4歳)を残して：母は日の出と共に畑仕事に行き日が暮れて帰り、私達が寝ている枕元で夜なべ仕事を、洋裁、和裁、編み物と全て器用にこなしていた。仕事は土方、製材所(小柄なのに米俵も担ぐ力持ち)、パチンコ屋、池亀食品店(フグ調理師免許取得)と何でもしてきた。

私達は小学校の頃からかまどでご飯を炊き、掃除、洗濯、風呂焚き、灰で食器を洗っていたのを今でも思い出す。田植え、稲刈りも手伝った。風邪を引いたらニンニク焼酎、梯子から落ちた時は卵とメリケン粉の湿布、お茶は家で植えていたクコ茶、収穫したゴマで油を、ひき臼で豆

そば、米を引いた。食事はサラダ一皿のみ、鍋一杯の枝豆、すき焼きはイリコと野菜、フグ(お隣さんが朝起きてくるか心配してくれた)、ア

ンコウ、サザエにアワビと蛤、ウ二。池で取れた鰻の目に釘を刺し一気に捌いて作るかば焼きの美味しかったこと！箱一杯のブドウで



作った葡萄酒がまた美味、カルピス、アルミ弁当箱で焼いたカステラ、栗の渋皮煮、炬燵で作る納豆、何でも作った母。私達はずっと貧乏だったと思っていたが、食生活はなんて贅沢で恵まれていたこと。

妹の幼稚園の送迎は私で中学校の参観日に行った事も、私だけ傘が無いと学校を休んだ。

散髪も自分達でした。今でも妹のカットをしているが、先日施設に入所している叔母の散髪を右が姉、左を私がカット、見ていた妹が私の雑さに気付き大笑い、以後はチェックが入る。

3人の娘が家を出た60歳からは京都のお屋敷で住み込みのお手伝いさん。植木屋さんと共に手入れ、屋根に上がつて修理も。家族の様に大切にしてもらい京都を楽しんだ。お陰ですっかり垢抜けた、老夫婦2人も看取り81歳まで勤めた。仕事が趣味とばかりに頑張ってきたが最後に人の役に立つならと献体も！母は偉大なり97年のあっぱれな人生だった。

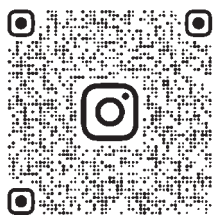
2003年から母が始めた三姉妹の家族で集まる新年会は23回になり12人が今では39人に!!

私達は3人で一人前！母の足元にも及ばないが、叔母の介護、旅行、趣味と何でも三姉妹一緒です。失敗を笑い飛ばし、楽しい充実した毎日をがモットーです。



【邇摩高校 公式 Instagram 開設のお知らせ】

邇摩高校の公式 Instagram を開設しました 📷 ✨
学校生活の様子、生徒の活動、地域との取り組みなど
邇摩高校の“いま”を、写真や動画でお届けしています！



@NIMAKOUKOU_KOSHIKI

ぜひフォローしてご覧ください！

2026松風会総会・懇親会 開催

2月7日(土)大田商工会議所にて開催されました。総会は胡摩田弘孝議長が議事進行を、懇親会は河村隆弘幹事長率いる平成13年3月卒の幹事団が担当しました。

大島淳氏の乾杯で開宴、石見神楽部による「恵比須」上演、じゃんけんゲームによる遼摩高校農業加工品の争奪戦と歓談の時は続きました。エールに校歌斉唱の後、宮本春樹副会長による“遼摩高版相撲甚句”が披露され、万歳三唱で締めくくられました。



胡摩田会長あいさつ



総会の様子



大島氏による乾杯



石見神楽部による「恵比須」

全国大会へ挑んだ2人

マドンナカップin伊予市
JVA第29回 全日本ビーチ
バレーボール高校選手権大会

第44回
全国高等学校弓道選抜大会

バレーボール部
3年生 西本和花さん

弓道部
2年生 小原美琴さん



五色姫海浜公園ビーチバレーコートにて



静岡県武道館にて

令和7年度 松風会年会費会計 決算書

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

I. 収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
繰越金	2,524,112	2,524,112	0	令和6年度より繰り越し
会費	596,000	520,000	△76,000	今年度入金額 260名×¥2,000=¥520,000 今年度未収額 6名分×¥2,000= ¥12,000
合計	3,120,112	3,044,112	△76,000	

II. 支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	備考
会報発行費	190,000	186,981	3,019	会報「松風56号」、479部
振込手数料	55,000	46,490	8,510	貯金局会費振込手数料および通知料金
他会計繰出金	200,000	200,000	0	松風会一般会計へ繰り出し
予備費	2,675,112	250,000	2,425,112	令和7年度 総会・懇親会へ補助
合計	3,120,112	683,471	2,436,641	

収入合計 3,044,112円 - 支出合計 683,471円 = 残高 2,360,641円

(注) 1. 収入の部の会費については、今年度¥12,000の未収額が生じています。
2. 決算処理の修正により、今年度に限り1/19を会計の締日としています。

上記を除き、令和7年度松風会年会費会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

令和7年/月22日

校内監事 門脇 良子 (印)

校内監事 藤田 航平 (印)

令和8年/月22日

松風会監査員 塩毛 利生 (印)

松風会監査員 杉原 慎二 (印)

令和7年度 松風会一般会計 決算書

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

I. 収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
繰越金	14,486	14,486	0	令和6年度より繰り越し
入会金	444,000	406,020	△37,980	今年度入金額 68名×¥6,000= ¥408,000 うち振込手数料引き去り △¥1,980 今年度未収額 6名分×¥6,000= ¥36,000
寄付金	0	15,199	15,199	卒業生より寄付
他会計繰入金	200,000	200,000	0	松風会年会費会計より
雑収入	14	254	240	貯金利息
合計	658,500	635,959	△22,541	

II. 支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	備考
会議費	5,000	0	5,000	
旅費	200,000	198,320	1,680	関東支部総会、2名参加
支部育成費	140,000	90,000	50,000	関東、大田、仁摩、温泉津、江津へ助成
事務費	100,000	101,810	△1,810	卒業記念品、高校野球広告料、学校紹介広告料、通信費他
会館管理補助費	70,000	70,000	0	松風会館維持管理会計へ
全国大会激励費	100,000	40,000	60,000	バレーボール部、弓道部
予備費	43,500	15,580	27,920	前会長退任、記念品
合計	658,500	515,710	142,790	

収入合計 635,959円 - 支出合計 515,710円 = 差引残額 120,249円
(令和8年度一般会計へ繰り越し)

(注) 1. 収入の部の入会金については、今年度¥36,000の未収額が発生しています。
2. 決算処理の修正により、今年度に限り1/19を会計の締日としています。

上記を除き、令和7年度松風会一般会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

令和8年/月22日 校内監事 門脇 良子 (印)

校内監事 藤田 航平 (印)

令和8年/月22日 松風会監査員 塩毛 利生 (印)

松風会監査員 杉原 慎二 (印)



事務局からの
連絡

会報松風は、遼摩高校ホームページでもご覧いただけます。
年会費の納入にご協力ください。

<http://www.nima.ed.jp/>